

第 66 回 東日本建築教育研究会・千葉大会 研究協議会（製図分科会） 報告

開催日：平成 28 年 8 月 4 日（木）

会 場：ホテルグリーンタワー幕張

参加者：29 名

テーマ：「製図課題の指導法」～教科書「建築設計製図」活用から～

研究協議 I（製図分科会）では、昨年度実施しました教科書「建築設計製図」活用状況調査の中間報告を製図分科会委員の群馬県立高崎工業高等学校・中曽根康先生からご報告いただきました。

今回の調査で製図例 2-1（木造平屋建住宅 配置図・平面図）、2-3（木造平屋建住宅 立面図・断面図）が多くの学校で指導されていることが分かりました。そこで、製図例 2-1、2-3 について参加された先生方から意見をいただき、更に情報交換の場となるよう「グループ討議」の形式で行いました。

「グループ討議」の方法は、参加者 29 名が 4 グループに分かれ、A 1 サイズに拡大した図面に、個々が気になる点を付箋に書いて貼り付け、それをまとめ各班 3 分間以内で発表する形式で行いました。ちなみに付箋は 3 色用意し、赤い付箋に「図面の疑問点」、青い付箋に「指導上の工夫点」、黄色に「その他意見」を記入していただきました。

スタートの時点で参加された先生方に戸惑いも見られましたが、付箋を貼り付けていくうちに段々と話し合いが活発になり、情報交換の場になったと感じています。

時間の関係上、製図例 2-3（木造平屋建住宅 立面図・断面図）については、残念ながらグループ討議ができませんでしたが、各校の先生方が疑問に思っていることや指導上で工夫されている点などが分かりました。製図分科会では、このグループ討議の内容を今後の研究に活かし、平成 30 年度以降の大会において、授業展開方法や指導法の提案に繋げて行きたいと思っております。今後も製図指導に関するご意見をお寄せいただきたいと思います。

最後になりますが、研究協議会にご参加いただきました先生方並びに、運営にお手伝いいただきました千葉県の先生方に感謝いたします。また、昨年度「教科書「建築設計製図」活用状況調査」にご協力いただきました学校様にあらためてお礼申し上げます。

「教科書「建築設計製図」活用状況調査」を今年度も引き続き行っております。まだ、ご回答いただいていない学校も、是非ご協力いただければと思います。よろしく願いいたします。



■グループ討議での意見【製図例2-1（木造平屋建住宅 配置図・平面図）について】

A班

- ・製図例毎に作図表現が違う。統一して欲しい。
- ・1年生が書く基本の図面なのに、仕上表は必要か。大きく配置図兼平面図の方が良い。
- ・寸法表記の無いところが多い。

B班

- ・J I Sと実際の常識が違う。
- ・断面、出入口記号
- ・C A Dデータの点線（太さ、間隔）が違う。設定を変えたりすれば良いのだが、しなくてもすむようにしてほしい。
- ・スケールが無い場合があるので、付録でしっかりとした1:100をつけては。
- ・壁厚、便所の寸法の決まっていないものを生徒自ら測って書くのが良いのか、目安を先生方が自分で考えている。

C班

- ・生徒の今を考えたときに、1年生が仕上表を書いても理解できるか。
- ・面積を求める線など、必要ないものは省略している。
- ・生徒の生活の中で、戸袋、雨戸、濡れ縁は、説明が必要である。
- ・建築屋の図面と、J I Sの違いをどう教えるか。

D班

- ・配置の考えが分からない。
- ・台所に破線が多い。
- ・玄関に履物入と物入は必要ない。
- ・雨戸は必要か。
- ・C A Dデータの印刷が見えない。
- ・座学と製図をどうリンクさせるか。



■アンケート結果

1. 研究協議会全体を通しての感想をお聞かせください。(一部抜粋)

- ・どの学校でも同じ指導で悩んでいるようなので、それらを解消できるようなテキストや指導法を考える必要があると思いました。
- ・他校の先生の意見が聞けて良かったが、もっと他の図面についても討議できると良かった。
- ・少人数グループだったので、意見が出しやすく、同じ疑問をもちながら各先生方の工夫していることが分かりました。
- ・高崎工業高校さんの方眼ノートを配布して、書かせていることは、良いアイデアだった。
- ・今までに無いグループ分けで、少々「ドキッ」としましたが、各発表内容が良いものでした。今後活かしたい。
- ・どの学校でも、同じように悩んでいるのだと感じることができました。
- ・もう少し長く話をしてみたかった。製図を教えるのは大変で、皆さんいろいろ考えながら取り組んでいるのが分かりました。
- ・製図の教科書に、沢山の人が疑問を持っていると思う。
- ・各学校の生徒の水準でも指導方法が変わること、先生方の悩みや課題を感じられて良かった。

2. 教科書「建築設計製図」活用状況調査の中間報告についてお聞かせください。

- ・参考になった [23] ・普通 [1] ・あまり参考にならない [0]

3. グループ討議についてお聞かせください。

(1) グループ討議時間はどうでしたか？

- ・短い [8] ・ちょうど良い [16] ・長い [0]

(2) グループ討議の方法はどうでしたか？

- ・良かった [21] ・普通 [3] ・あまり良くなかった [0]

(3) グループ討議の感想をお聞かせください。(一部抜粋)

- ・事前にやることを知っていれば、もう少し意見がでると思います。
- ・もっと時間があれば、より深い内容に踏み込めたと思います。
- ・付箋はもう少し小さいもので、単語で書けると良いです。三つ同時ではなく、一つずつテーマを絞ってもらえると良かった。
- ・各自思っている又は授業で感じている事柄を言える討議で、楽しくできた。
- ・生徒目線で疑問点を持つことは、すごく大切だと改めて思いました。
- ・ざっくばらんな雰囲気話し合うことができ、とても良かった。
- ・指導方法や工夫などを共有していく事は重要なので、学校に戻ってから先生間でもやってみたいと思いました。
- ・今年は疑問点の抽出が主となっていたような気がしました。指導するにあたり、改善策ももう少し考えたかったです。